

六葉会 会報

2015 年
4 月号



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>

表紙を飾る 版画家 **大庭 明子**さん (23 回生)

カラフルでパワフルな作品で
幅広く活躍する大庭さん!
みなさんの応援、
よろしくお願い致します。



Akiko Oba

表紙の作品紹介

「PIANO Z」 19.2×15.3(cm) 木版画 2015

略 歴

- 1956 神奈川県逗子市に生まれる
- 1978 ~ '97 神奈川版画アンデパンダン展
- 1979 東京造形大学絵画科版画研究室卒業 (教授: 馬場栲男)
- 1980 ~ '89 神奈川県美術展 (受賞 '80, '82, '83, '84, '86)
- 1981 ~ '88 日本版画協会展 (受賞 '87)
- 1981 ~ 個展 (各地)
- 1982 版画〈期待の新人〉展 (りゅう画廊)
- 1984 イベザグラフィック展 (スペイン)
- 1985 文化庁芸術家国内研修員 (指導: 磯見輝夫)
平和への青年芸術家展 (ポーランド)
- 1987・'91 Small Graphic Forms, Lodz Poland (ポーランド)
- 1987 第21回現代美術選抜展 (文化庁)
- 1989 Petit Format de Papier = Japon 1989 (ベルギー、フランス)
- 1991・2002 C.W.A.J. 現代版画展 (アメリカン・クラブ)
- 1992 横浜の作家たち (横浜、ルーマニア: コンスタンツァ、ブカレスト)
- 1994 ビトラ国際版画トリエンナーレ (マケドニア: ビトラ)
- 2008 絵本「ことばのくにのマジックショー」
(アリス館 手品: 大友剛 ことば: 中川ひろたか)
- 2009 絵本「にくまん どっち?」 (アリス館 文: 荻田澄子)
- 収 蔵 神奈川県民ホール、神奈川県立かながわ女性センター、
厚木市民文化会館、横浜市民ギャラリー、大学版画協会、
逗子文化プラザホール

●大庭さんのホームページはこちら。

<http://www.obaakiko.com>

「大庭明子の電子空間」

C O N T E N T S

大庭明子さんプロフィール	表 2	六葉会活動報告	8
会長挨拶	1	クラブ活動レポート バドミントン部 茶道部	10
校長挨拶	2	同期会レポート	12
川又 優 先生 追悼文	4	親睦ゴルフ大会報告・お知らせ	16
荒井 貞 先生 追悼文	5	第 63 回生学年幹事氏名・六浦祭・HDCお知らせ	17
なつかしの天城山荘	6		

新校長を迎えて一年

六葉会会長 島根 正隆（9 回生）



昨今の異常気象に伴い集中豪雨、土砂災害等予期せぬ出来事が多く自然に対する驚異を感じるところです。2015 年 3 月 2 日第 63 回の卒業式が行われ 188 名が新たに六葉会の会員に加わり心から歓迎すると共に総数は 12964 名になりました。

六葉会の三大事業は会員・恩師・教職員の相互の情報伝達としての会報発行、同窓生の要望・意見交換と事業計画・予算執行等の方針決定の総会開催、母校の文化祭（六

浦祭）に合わせたのホームカミングデーの実施、学び舎での礼拝と懇親会は恩師と同窓生との再会の場でもあります。また在校生の活動の様子、様々な校舎の変貌を見学できる機会でもあります。「継続は力なり」これからも続けて行きたいと思います。

黒畑勝男校長の精力的な教育の取り組みに対し学校と同窓会が共に力を合わせて協力関係を強化しこれからも母校の発展のため取り組みたいと思います。

ますます活発で明るい同窓会を築くため役員一同一丸となって活動を行ってまいります。今後ともご指導ご厚情を賜りますようよろしくお願いいたします。

お礼

東日本大震災募金活動の被災地支援ご協力有難うございます。義捐金は毎年 3 月と 9 月に日本赤十字社に届けています。一日も早い被災地の復興・復旧をお祈りいたします。

校長就任2年目を迎えて

校長 黒畑 勝男



黒畑勝男（くろはたかつお）略歴
1958（昭和33）年生まれ56歳
北海道札幌市出身

担当教科…英語

道立高等学校、立命館慶祥中学校 高等学校教頭、とわの森三愛高等学校副校長を経て現職。

早いもので就任二年目を迎えました。この一年、六葉会の皆様から本当に多くのお力添えを頂きました。心より御礼申し上げます。

着任早々、最も早く強烈なインパクトで、本校についてのレクチャーを頂いたことを思い出します。関東学院を何も知らない不遜な者とお叱りを受けたこともあり、新しい校長として身の引き締まる思いでした。そうしたお言葉の数々は同窓生としての母校愛、ほとばしり出る情熱そのものと感じています。一方で、具体的かつ実質的で大胆なこれまでにないご支援を頂きましたことは、感謝の二語に尽きます。

ご支援は、グローバル化へ対応する教

育の取り組みと入試広報に活かさせて頂いています。2010年度からの受験者と入学者数の落ち込みによる広報費の捻出が苦しいのが実情です。しかし、3月には訴求効果の広域化を目指し日本経済新聞の企画広告を行いました。また、4月28日から5月11日まで地下鉄ブルーラインの車内広告を進めさせて頂いただきます。地下鉄「はまりん号」は先頭車両内全広告を行います。これらは六葉会の皆様のご支援の賜物です。

2015年度の入学生は2014年度と同数の168名でした。残念ながら今年も定員85%を切る状況です。一

方で、受験欠席が少なく歩留まりもよいと総括しています。確信的に本校を志望された保護者の方々の声も聞こえてきていますので、2014年度の新たな方向の打ち出しは間違いいではないと感じています。

ただ、年々下がる女子生徒の在席率は負のスパイラルに突入し得る危機的な状態です。在席女子の少なさへの不安感を無くし、女子児童の保護者が通わせたい学校にするのが大きな課題です。

国際化への教育に対する感覚や志向が男子よりも女子生徒・大学生に多いという統計がありますから、国際化対応と英語教育の強化、留学や海外研修への勧めは大きな戦略です。しかし、活

気のある学校として多様な生徒を多様に求める対策も必要で、その一つとして2015年度からの検討としていた女子ラグビーを形にしました。昨年12月、女子ラグビーを男子部に併設して部にしました。関東学院の人的資源、環境を生かし、次年度の募集効果のつに繋がりたいと思います。

校長室を訪問され、直接母校への心配を語っていかれる方もいらっしゃると思います。頂くご意見は共通して、「出口」についてです。卒業時進路については校長としても喫緊の課題として認識しており、2015年度の目立てすべきこととしていきます。

進路確保までの学習指導体制については、従来の指導のあり方から眺めてみても組織業務という意識の点で再構築の必要を感じています。一朝一夕には進まない事ですが、明日の本校を考える視点に立たねばなりません。

グローバル化へ対応する教育は

2014年度よりもさらに進め、英語教育の重点化も校是として進めます。グローバル化の時代だからこそ、自分の将来を社会の変化と適性から考え、志望を具体化し、地道に努力する。勉強、活動する生徒を育むフレームを考えなければなりません。また単純に、○○大△名…という出口実績＝学校価値が全てではない時代に入り始めていること

もあり、受験マップも色々と少子化による変化が起ころっています。しかし、推薦進学にせよ、受験進学にせよ、基礎学力をしっかりとつけることが絶対的に重要で、同時に、自己啓発力が高く、自己を取り巻く課題に対する解決意欲を旺盛に育てることも重要です。

教員には、生徒が自分を啓発する力を高めるための指導技術の研鑽が必要です。同時にハード面で授業のICT化にも慣れていく必要があります。東京都では神奈川よりはるかに速いスピードでICT化が進んでいます。これも時間の問題ですが、本校は遅れている神奈川

の中で他の私学に先んじてICT化を進めます。学院は法人としてこれに込め、昨年度内に本校のICT化に多額の投資をしました。教員も自ら夜な夜な相互に研修会などを開き、授業改革に取り組み始めています。これらの総合的な成果として、「出口」を作って行きたいと考えています。

横浜バプテストに源流を持ち130年。六浦の地に60年。キリストの教えに立ち、坂田祐初代学院長の掲げた「人になれ 奉仕せよ」を建学の精神とする中高一貫の6年間。その毎日の中で自分を愛するように人を愛することを語られながら、同時にそのことの難しさを知らされていく。人との関わりを知り、自分を知っていきます。ここ六浦での6年間の生活と育ちは、ボーダーレス化が進む社会に臆せず躊躇せず歩みだしていく人間力を心の底から支えたと信じ、あらためて学校づくりを考えていきますので、今年度もどうぞよろしくお願いします。

追悼文

川又 優 先生

野澤 一良（20回生）

川又先生の思い出



「これが金鶏勲章です」

中学3年の時、社会の授業中に川又先生が見せて下さった金鶏勲章は古びた箱の中で灰色に鈍く光りを放っていました。この金鶏勲章は生きて受勲するのは難しい勲章のことでしたが、戦後、この勲章のために戦犯になり公職追放されたこと、褒め称えられ軍功ありと称された人間が、敗戦を迎えたとたった一夜で犯罪者になってしまう社会構造の際どさを話して、世の中の価値観や社会通念には普遍性が無いことを教えていただきました



金鶏勲章

た。ひょうひょうとした語り口とは裏腹に、時折本音をのぞかせながらの川又先生の社会の授業は、中学生の私には新しい世界を垣間見るような気分でした。

ある日の授業の終わり近くに、突然「次の授業から模擬裁判を行います」とおっしゃって、民事事件と刑事事件のあらましを私たちに伝え、その後に、もうすでに決めてあったと思われる「配役」をすらすらと発表しました。「明日からよろしく」とひとこと言い残して川又先生は教室を去ってしまいました。さあ、裁判など見たこともない私たちは、刑事事件と民事事件のグループに

分かれ侃侃諤諤と議論を始めましたが、中学9年生の知識ではどうしようもありません。インターネットなど無い時代ですから、仕方なしに図書館に行ってアレコレ調べますが、裁判のやり方などどこを調べても載っていない文献も非常に少なかったと記憶しています。授業当日になり、起訴状の朗読や罪状認否に始まり、何とか恰好だけ付けた模擬裁判は、民事裁判と刑事裁判で3週間くらい続きました。川又先生は教室の一番後ろの席に座り、楽しそうに裁判の行方をご覧になって、授業時間の終わる時に必ず「いやあ今日も楽しかったですね」と毎回同じように一言おっしゃるだけで、裁判のやり方や内容に関しては一切言及しませんでした。

判事、検事、弁護士などの役割をもらった生徒たちは、それぞれが新聞や百科事典で調べながら模擬裁判を進めたのですが、川又先生はただただ皆を褒めるだけで決して間違いを指摘したり批判したりしませんでした。世の中のことに興味を持って、学校での生き方に大きく自信を持った級友が沢山いたことも記憶にあります。

「関東六浦は、下駄箱の並び順で学校内の序列が分かる面白い学校ですね」

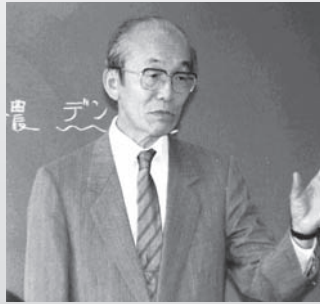
ドキッとしました。川又先生のご冥福をお祈りいたします。

追悼文

荒井 貞 先生

永野 肇（8回生）

荒井 貞先生を偲んで



荒井 貞先生は2014年10月5日に逝去されました。享年83歳でした。前夜式（10月12日）、葬儀（13日）は日本キリスト教団逗子教会で執り行われました。

荒井先生とは生徒として、同僚の教員として本当に長い間お交わりをいただき、また大変お世話になりました。卒業生の皆さんも荒井先生との想いでは数々あることと存じます。私が教師になるきっかけを作って下さったのは荒井先生です。高1の地理の授業はもともと地理が好きだった事もありますが、特に自然地理に興味を持つようになりました。その結果、地学の教

師になり、幸いにも母校の教師として戻って来ることが出来ました。ところで、荒井先生の葬儀が日本キリスト教団逗子教会で行われたことに驚かれた方達がおられたようです。前夜式、葬儀に参列された方はお分かりのことと思いますが、ご次男 仁さん（29回生）が現在鎌倉恩龍教会の牧師であり、逗子教会が無牧のとき兼任されていた。また中高時代は逗子教会の日曜学校に通っており、私が日曜学校の教師をしていました。また、ご長男 稔さん（25回生）のご挨拶や頂いた会葬御礼のご挨拶の中に「葬儀を逗子教会で行いたいとの希望は生前か

ら伝えられていました。長らく教師として勤めた関東学院六浦中学高等学校、大学でキリスト教に触れる機会があり、良き同僚、生徒、職員の方々に恵まれたことが教会葬を願った理由となったようです」と述べています。

荒井先生はご専門以外にお亡くなりになる直前まで俳句への熱心な取り組み、そして学校行事の記録写真を始めとして数々の素晴らしい作品の数々、趣味の域を超えていました。ご挨拶の中に「好きなことは写真撮影、富士山を見ること、歩くことそしてビールを飲むことでした」と、折り目正しい几帳面な先生の姿が思い浮びます。訃報が伝えられた直後、フエースブックにこんな書き込みがありました。「中1の社会がケッペン先生、始まりの時必ず教卓の角に親指と人差し指を合わせてのあいさつ、よくおぼえています。」（ケッペン…荒井先生のニックネーム、地図で有名なケッペンをとても尊敬していた。」「毎度の親父ギャグも意外と好きでした。」「ことばを大切にすることだわりの先生でした」などなど数多くの書き込みがありました。

まだまだお元気で活躍していただきたかったのに、とても残念です。改めまして心から哀悼の意を表します

なつかしの 天城山荘

40数年ぶりに訪れた25回生の方3人
のお話を伺ってみました。

あまりにも遠い昔話なので、同級生の助けがなければ思い出せなかったかも知れません。しかし、43年前の記憶の断片を手探るに、さほど様子が変わっていないように思えました。当時、初めて聖書や讃美歌に触れ、礼拝もとても不思議なものに映ったのを思い出します。もし、公立校に通っていたなら絶対に来なかった特別な場所。何もかもがここから始まったことを思い出しました。

生越文明(25回生)



大チャペルの外観



大チャペル



食堂

生越さんの同級生、山本さんはどんな感想だったんでしょう。

礼拝堂や食堂もあの頃と同じように生き生きしていました。木造りの柱や床は重厚感を保っていて、この40年間大切に手入れされ、愛され続けてきた証と思うとありがたいやら嬉しいやらで感激しました。私は大分変わってしまったけれど、しばし目を閉じるとあのころの自分がいるような、一瞬不思議な風が通り抜けたような・・・あの日々を経ているの自分がい

2014年11月16日(日)六葉会で天城山荘の見学ツアーに行って参りました。常任幹事を中心にその友人の六葉会会員にも声をかけご参加いただきました。様々な違った世代の方々が参加されましたがそれぞれに懐かしい思いが蘇ったようです。

中学に入って友だちもたくさんでき学校にもなれてきた初夏の気持ちのよい季節に生活訓練として行ったのが初めての天城山荘だった方が多いと思います。その後高校1年生の同じ頃2度目の天城山荘で新しい思い出もたくさん作ってきたのではなかったでしょうか。そんな懐かしい思い出話をしてきた常任幹事の中であらためて行ってみようという意見が出始め2014年秋に企画しました。

ることを実感しました。今回、40年ぶりに訪れるきっかけをくださった友人やお世話になった先輩方に感謝しています。懐かしい先生方や友人達の名前も飛び交いましたね。本当に楽しい2日間でした。この機会を作っていただきありがとうございます。是非、皆さんにも見学して欲しいですね。きつとあの頃の自分と出会えると思います。

山本(上田)恵三子(25回生)

もうひと方25回生の加藤さんの感想をお読みください。

数十年前ぶりに開いた同窓会で再開した同級生のお誘いで天城山荘に行ってみました。子どもの頃と同じ様に数日前から少し緊張しながら、当日同級生4人で金沢八景を車で出発しました。途中六葉会のメンバーの大先輩、後輩と合流し、浄蓮の滝など見学しながら天城山荘に到着。早速、館内を見学し・・・。



浄蓮の滝

礼拝堂の木でできたベンチシートや子どもの私達にとってはとてもお洒落に感じた食堂、キャンプファイヤーをしたグラウンドetc・・・



22年の年の差も
同じ場所の思い出



それぞれが清潔にきちんと整っていて当時のまま、そこにはイタズラをして先生に怒られた苦い思い出、初めて好きだと告白された甘い思い出などがいっぱい・・・それにお化け出るなんて楽しい噂もありましたね・・・あれこれと思い出話をしながら楽しい時間はあっという間に過ぎました。この見学ツアーを企画して誘っていた六葉会の皆様にこの場を借りて感謝と御礼をさせていただきました。本当にありがとうございます。そして天城山荘が私達の思い出の場所として何時までもそこにあります様に。

加藤(吉野)彰子(25回生)



天城山荘

天城山荘は、静岡県伊豆市にあるキリスト教の宿泊・研修施設です。日本バプテスト連盟が所有している。1954年に、在日米軍婦人部のバプテストのキリスト者と米国南部バプテスト連盟加盟教会の献金により建てられました。学校や教会・教会関係者によく利用されています。



1965年頃の天城山荘

あとがき

卒業して30数年、まさか天城山荘を訪れる事になるとは思ってもいませんでした。「今さら」と言いたい人もいるでしょうが、是非一度気の合う仲間と訪問してみてください。あつという間に中学一年生に戻ってしまおうでしょう。今回は先輩方と一緒にさせていただきますが不思議とまるで同じ時にそこにくいたかのように話はずんではまりました。天城山荘にははかり知れないパワーがあるようです。

常任幹事 駒井三壁稚寿子(30回生)

今年も1年で二番学校が盛り上がる六浦祭が10月31日(金)、11月1日(土)の2日間開催されました。

今回は「ありのままの笑顔」で楽しんでもらいたいとの思いで「Natural」ありのままの笑顔」をテーマに行われました。2014年の大ヒット映画「アナと雪の女王」でも有名になり、流行語にもなった「ありのまま」にちなんでつけられたか定かではありませんが、非常に親しみのあるテーマだったのではないのでしょうか。

中庭のイベントステージではのど自慢大会を初めとしてクイズ大会、礼拝堂では演劇部や吹奏楽部の発表会で非常に盛り上がり 있었습니다。グラウンドではサッカー部が、そして体育館ではバスケットボール部が、現役対OBとの親善試合などで交流し、様々な飲食ブースでは生徒たちはもちろんの事、保護者の方々も参加し楽しい雰囲気の中六浦祭に華を添えていました。

私たち六葉会も例年の通り、教室の一角を「六葉会の部屋」として

2014年度の六浦祭。
今年もにぎやかに開催されました。
毎年新しい内容でとても楽しみです。

2014年度 六浦祭

卒業生の交流の場に活用していただこうと様々な工夫を凝らして六浦祭に臨みました。メインは1回生から現在に至るまでの卒業生アルバムの展示です。最近卒業した若い世代の卒業生たちが自分の親もしくは、祖父祖母の時代の卒業写真をみて時代の移り変わりを記入していたように観えました。35回生である私自身も、校舎やグラウンドが様変わりしていることに驚くとともに、自分の卒業アルバムをみて懐かしい思いを抱いていました。

卒業生約12,800人が気軽に集えるきっかけを考えていきたいと思っています。母校を思い、母校に來校しそして母校後輩たちのために何かしてあげたいという気持ちを起こしてもらえようような活動も必要と考えています。卒業生の皆様も是非六浦祭に合わせ母校の様子を見にお越しいただきたいと思っています。

母校支援委員長 加藤眞道(35回生)



卒業アルバムや拡大写真を展示しています

「六葉会の部屋」ではお茶とお菓子を用意して卒業生を迎えています



教員室前の「六葉会の部屋」



正面受付



六浦祭パンフレットデザインほかすべて生徒が創っています

2014年度 ホームカミングデー

六葉会では今年度もホームカミングデーを開催いたしました。恩師の先生方もお招きして六葉会会員の皆様と一緒に楽しんでいただくことが出来ました。
2014年度のホームカミングデーの様子をお伝えします。



毎年生徒会へ支援金を贈呈しています 六葉会会長と生徒会長の柏木みなみさん



毎年懐かしい先生方にもご参加いただいています

2014年11月1日に第10回ホームカミングデーが今年も六浦祭にあわせて開催されました。あいにく、当日の天候は午前中から小雨になり、午後には本格的な雨になってしまいました。

残念なことに、屋外ステージの行事は中止、六浦祭の運営にも影響がある天候になってしまいました。今回は47回生から52回生の卒業生の方々に招待状を送付して行われました。毎年恒例の流れでありま

すが、会議室での式典礼拝、茶話会が開かれ、参加者におかれましては、久しぶりに会う級友や恩師の先生方と会話等、短い時間ではありましたが、記憶に残るような貴重な時間を過ごしていただいたと思っております。

六葉会の活動において、今回でホームカミングデーの開催も10回目の節目となり、その対象なる卒業生の方々も来年で1巡することも含め、以降の開催については、内容や

方向性等も現在検討中でありま
す。母校には、皆様ご承知の通り、今年度から新しく黒畑校長先生が就任され「新たな時代に向けた教育へのチャレンジ」と方針を掲げられており、従来の六葉会の活動から新しい時代に向けた支援活動に取り組むことも考えていきます。今後とも母校の発展向上に協力し役割を果たしていきます。

母校支援委員長 荒井直彦(55回生)



バドミントン部

2014年10月4日、伝統のバドミントン部を訪問しました。現在部員数は男子4人、女子15人。小学生の頃、家族でバドミントンで遊んだことがバドミントンを始めるきっかけになったという4年生の柏瀬部長。取材当日は19人の部員をまとめ、全員が声を出してシャトルを打ち込んでいました。実践練習日は月火金土、水木は陸上トレーニングで基礎体力強化。バドミントン部がある学校が増え地区予選を勝ち抜かなければ県大会に出場するのも難しいとのこと。顧問の鈴木由美子先生は「取りあえず県大会に毎年出場することを目指」と話していました。卒業生としては名門復活を期待しています。

夏は7月末から3泊で学校で合宿しています。バドミントン部のOBの皆さん是非激励に行ってあげてください。勿論差し入れも宜しく。昔は「関東六浦と言えバドミントン部」という時代もありました。当時の輝かしい成績に触れてみたいと思います。昭和25年から47年まではインターハイ出場の常連校。その中で特筆なのは第6期生の小宮義雄さん（リーグ名古屋グランパス元社長）昭和32年インターハイ・国体優勝、立教大学時代はインカレ優勝、その後社会人時代には全日本、世界選手権に出場という偉大な先輩を輩出しています。

藤田伸哉（18回生）



練習風景



たくさんの表彰状やトロフィーがありました

【過去の成績】

平成25年度 県高等学校新人戦
女子学校対抗戦横浜南地区第6位 県大会出場
女子ダブルス 横浜南地区第7位 県大会出場

平成26年度 県高校総合体育大会
女子ダブルス 横浜南地区第6位 県大会出場

茶 道 部

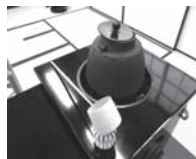
2014年11月、今回は茶道部を訪問です。流派は裏千家、現在の部員数は12名で、男子部員も1名います。毎週木曜日の放課後16時～18時に稽古をしています。「稽古は厳しいですが、茶道が好きなんです」と部長が快活に答えてくれました。運動部と違って競技会のような大会はありませんが、学校茶道連絡協議会に参加しており今年は協議会発足40周年を迎え、パシフィコ横浜で記念大会が開催されました。関東六浦からは、3名参加してお点前を披露したそうです。京都から家元も参加され、家元と二緒に撮った写真が良い記念になったそうです。顧問の先生は、お茶室がない学校もあるなかで、関東六浦ではお茶室を作っていただ

き。畳に座って稽古できることに感謝しているとおっしゃられていました。取材に伺った日は、折しも六浦祭の当日で保護者に日頃の稽古の成果を披露するところでした。保護者にまじって犬塚先生もお見えになられておりました。部員の皆さんはかわいらしい着物姿で迎えてくれましたが、これからお点前を披露する部長は、緊張の面持ちです。それでも手際良くお茶を点てている様子は、日頃の稽古の賜物だと感じました。お点前が終わって緊張が解けたのか、大きな声で「だって今〇×※〇※」と言っていたのが印象的です。さすがJK!! 元気がいいです。

栗原宏之 (25回生)



美しいお点前



茶道具もきれいに
されています



茶道部の方々

リポート

近年の傾向として「中二の時の〇〇先生のクラス会」といった小さな集まりが、少しずつですが、行われるようになってきました。もちろん学年での同期会も今まで同様に活発に行われているようです。

2014年度に行われた同期会、クラス会を開催された順にご紹介させていただきます。

【2014年6月14日】 18回生 (J1-3 クラス会)



『光陰矢の如し』。あっという間に時は流れ、気がつけば中学に入学してから50年、半世紀が経ちました。この度50年を節目に、平成26年6月14日(土)、横浜中華街・福満園にて18期J1-3クラス会を開催いたしました。当日は担任の松本真理先生(旧姓・白木)も含め20名の参加を戴きました。開宴早々皆さん、あっという間に50年前の童顔に戻り和気藹々に談笑。本当に楽しい一時を過ごすことが出来ました。

【2014年6月16日】 5回生 (互暉会)



2014年6月16日、崎陽軒4Fで「互暉会」が開催されました。26名の参加(男16女10)でした。

話題は病院通い、薬自慢、たまに孫の話、旅の話などで盛り上がりました。

元気なうちに、毎年開催することになっていますが、来年からは7月7日七夕の日に会いましょうかと・・・。

六葉会ご担当の皆様、何かの機会に先輩たちの同窓会にご参加してみる企画をされたらいかがですか。互暉会のジジ、パバは歓迎しますよ。

【2014年5月21日】 1回生



2014年度1期会は、5月21日(水)、横浜ロイヤルパークホテル宴会場にて開催されました。今回は傘寿を迎える記念の年でもあり、盛大に3時間のゆとりの時間を設けました。合計30名(女性9名、男性21名)の参加を得ました。がんの手術を何回も乗り越え、当日出席された男性もありました。

高校の友人たちとの年1回の会合は昔の自分に戻り、平素のじじ・ばば世界から、しばし離れ、楽しい時間となります。持参した讃美歌CDを聴きながら、東の間の3時間でした。

【2014年5月25日】 25回生



第25回生同期会は平成26年5月25日(日)13:00～15:00新横浜ラントラクトにて開催されました。

永野先生、野村先生、奥山先生を迎え、65名の参加でした。前回の同窓会から17年ぶりの同期会の実施となり、久々の再開は良い刺激となりました。

【2014年10月11日】 10回生有志



10月11日庄司瑛子さん宅に久々に同窓の仲間が集まりました。青空の下での庄司さんの畑で採れた無農薬野菜の軽食で音楽を楽しみながら、ゆっくり語り合う時間が流れました。この集いも人のために何かをしたいという仲間の力があり32名の方々の集いとなりました。次回も多くの方々に来訪していただくことを願っています。

【2014年10月19日】 12回生

10月19日(日)横浜崎陽軒で12回生の同窓会を行いました。伊藤清先生・国近先生出席のもと59名の参加をいただき3時間楽しめました。



2014年10月20日、四期生の同期会が行われました。横浜の馬車道十番館で、久しぶりに、フランス料理をいただき、お喋りを楽しみました。あいにく先生方は、来られませんでしたでしたが、今年は、私達の喜寿の年に当たり、特別に恵まれたひと時でした。卒業以来、初めての出席という珍しい顔ぶれ、そして馬車道十番館設立記念の抽選会有り、一人がベアでのランチ権(券)を当てました。31名の出席でした。

2014年度 同期会

【2014年9月6日】 37回生



「4年に1度、サッカーワールドカップ開催の年に学年同窓会を開催しよう」と、今回で4回目の9月6日・ホテルプラム横浜にて永野肇先生、萩原千鶴子先生、山田武光先生を囲み、62名の参加で学年同窓会を開催致しました。今でもお付き合いのある方、久しぶりに参加して頂けた方もいらっしゃり、高校時代に帰った気分でご話に花が咲き、あっという間の一時でした。4年後の平成30年にまた再会したいです。

【2014年9月7日】 16回生



9月7日、横浜みなとみらい地区にあります「ナビオス横浜」にて開催することが出来ました。当日は国近高龍先生、大西義昭先生、佐々木智子先生にご参加いただき総勢42名の同級生が集まることが出来ました。大西義昭先生、佐々木智子先生とは52年ぶりの再会となり、一同で楽しい時を過ごすことが出来ました。

【2014年11月8日】 31回生



2014年11月8日17時から、場所は横浜元町にある、イタリアンレストラン「パパ・ダビデ」、先輩の前田さんのお店です。集まった人は1組から5組まで、合せて43名。面影があり、直ぐに名前を思い出せる人、少し記憶をたどりながら思い出す人、卒業してから初めての再会を喜ぶ人、時間はいくらあっても足りない夜でした。

4年前の2010年にも中華街で、同窓会をしました。今回はみんな50歳という人生で節目の年に行いました。次回は2年後に予定しています。

【2014年10月26日】 6回生



2014年10月26日に6回生の同期会が横浜駅東口の崎陽軒本店で行われました。

138名で卒業しましたが、105名の方がお元気で、今回は一・二次会合わせて46名の方々が参加されました。中には卒業以来初めての参加で、京都から馳せ参じた石井恵生君は、今でも元気にテニスを教えているとのことでした。次回は2年後にまた、横浜で会いましょうと言って散会しました。

【2014年11月9日】 27回生



2014年11月9日(日) 13時よりブリーズベイホテルで安達みな子先生、岩部文彦先生、奥山繁樹先生、落越道彦先生、国近高龍先生の5人の先生方をお迎えして、出席者数68名で行われました。12時30分から受付開始にも関わらず、12時過ぎから続々と集まりはじめ盛会となりました。同じ会場で2次会へ突入!!先生方も残ってくださいました。別れを惜しむように3次会のカラオケへ半数以上が参加!!更に会場を大きく地元へ移動し4次会…そして、5次会まで行ったツワモノがいたのには驚き!!??とても懐かし楽しいひと時を過ごせました。

【2014年11月8日】 7回生



11月8日伊藤清先生を迎え正午よりパパ・ダヴィデに於いて7回生の同窓会を開催しました。約4時間56年前に戻り楽しいひと時を過ごしました。前回から4年経ち参加者が少ないのではと心配していましたが前回同様の50名を超える参加者が有りました。次回は3年後喜寿を記念して開催を予定しています。

【2015年1月29日】 7回生 (女子会)



2015年1月29日(木曜日)「石田禎子先生を囲む会」として鎌倉のパークホテルのフレンチベルゴラで7回生女子会を開催いたしました。幸い大雪の前日の好天気恵まれ本当にお元氣な石田先生を含め19名もの参加がありました。おいしいフレンチと卒業して61年ぶりという女子のみの集いなので男性ぬきの本音で話し合える暖かな有意義なひととき持ちました。9回生のパークホテルの“主”小沢さんが万事に便宜を図って下さり、皆さんのご好意を受けて本当に楽しい一日でした。

【2015年1月4日】 44回生 (S3-2クラス会)



2015年1月4日(日)午後1時からホテル横浜キャメロット ジャパン・エルコラーノ(会場:ジャクリン)にて、44回生の高校3年2組のクラス会を実施致しました。参加者は22名で、担任の佐々木智子先生もご参加して頂きました。この日は佐々木先生の誕生日でもあったため、サプライズでお祝いもさせて頂きました。参加者の中には、卒業して19年ぶりに再会する同級生もあり、懐かしい話は尽きませんでした。

【2015年1月12日】 61回生



1月12日(月曜日)、19時半より横浜崎陽軒本店にて第61期卒業生の同期会を行いました。6名の先生方にも参加していただき計132名の方が集まりました。2時間という限られた時間の中で、久しぶりに顔を合わせた友人や先生方と会話や写真撮影をして楽しい時間を過ごしました。途中、プレゼント抽選を行い会はずも盛り上がりります。最後に中田努先生にお言葉をいただき無事に会を終えることができました。

**同期会の開催には、
通信費補助金を差し上げます！**

六葉会は同期会の開催をお手伝いさせていただく意味で、同期会やクラス会を開催する幹事さんに、1クラスにつき3,000円の通信費補助金を差し上げております。住所情報提供もしております。

同期会終了後に以下のものを六葉会に提供していただけたら幸いです。

- (1) 更新した住所録
 - (2) 同期会のレポート
- 皆さんの同期会が盛会となりますことを心よりお祈りしております。

2014年11月13日開催

第8回

卒業生親睦ゴルフ大会開催される!

関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会



今回もたくさんの同窓生が集まりました

卒業生親睦ゴルフ大会に
参加して

今坂 伸二 (23回生)

2014年11月13日、第8回関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会が、市原のキングフィールズゴルフクラブで開催されました。第1回からお手伝いさせていただき参加していましたが、多くの同窓生が集まりとても楽しいゴルフ大会となりました。パワフルな先輩方といきいきとした後輩、懐かしい方々に会いエネルギーをもらっている感じがです。最高のコンディションに仕上がった大好きなキングフィールズでのプレーは私以外でもゴルフ好きならきつと満足されると思います。20代から80代の卒業生が集うゴルフはこれからずっと続けて参加したいと思います。まだ参加されたことのない方は是非今年の親睦ゴルフ大会に同窓生のゴルフ仲間をおさそいいただきエントリしてください。

・・・・・・・・次回開催のお知らせ・・・・・・・・

第10回 関東学院三春台校・六浦校 卒業生親睦ゴルフ大会

日 程 : 2015年7月13日(月)
参加資格 : 両校卒業生・在籍歴のある方・教職員(現役・退職問わず)
会 場 : 10回を記念して磯子カントリークラブで開催いたします
会 費 : 22,000円(プレー代・パーティ代含む)

第9回 関東学院六浦中学校・高等学校 卒業生親睦ゴルフ大会

日 程 : 2015年11月12日(木)
参加資格 : 関東学院六浦中学校・高等学校卒業生・在籍歴のある方・教職員(現役・退職問わず)
会 場 : キングフィールズゴルフクラブ
会 費 : 12,000円(プレー代・パーティ代)

どちらもお一人でもご参加いただけますので振ってご参加ください。

▼連絡先: 武田正雄 (7回生)

■ 045 (321) 5345 または 090 (3515) 1395

FAX045 (324) 0242

六浦祭

2015年10月30日(金)～10月31日(土)

今年も六浦祭が開催されます。新しくなった校舎や催し物・模擬店を見にいらっしやいませんか。私たち卒業生も現役生徒たちの応援団です。

六浦祭期間中、六葉会では「六葉会の部屋」でお茶とお菓子を用意してお待ちしております。卒業アルバムなどをご覧くださいながら懐かしいお話で盛り上がっています。

第11回ホームカミングデー

式典：10月31日(土) 午前11時頃より

茶話会：正午頃より

日程等の変更される場合があります。ホームページでご確認ください。また学校には駐車場の用意がございません。お越しの際は公共交通機関等をご利用ください。

会報のバックナンバーがご覧いただけます

毎年六葉会会員の皆さんにお届けしている「六葉会会報」は六葉会のホームページ(<http://www.rokuyoukai.com/>)で過去に発行された18年分をご覧いただけます。「六葉会」で検索できます。六葉会では会報をデジタル化してお知らせすることを検討しています。

住所変更は携帯・スマートフォンからでもできます。



六葉会ホームページには会報バックナンバーの他に次のような記事も載っています。

- 1 恩師の動画**
六葉会ホームページのトップ右側に表示されています。懐かしい先生方にお話をいただきました。
- 2 同期会のお知らせ**
クラス会や学年会を開催する際には六葉会にご一報ください。「同期会・クラス会」をご覧ください。
- 3 六葉会の日程**
常任幹事会の日程も表示してあります。議事録も掲載してありますので会議の様子もわかります。ご協力いただける方は是非お出かけください。
- 4 母校の様子**
母校の公式 Web サイトと公式ブログをご覧ください。トップの「母校のようす」からご覧ください。

※会報の印刷は当分の間継続していきますが、六葉会で進めている会報のデジタル化にご理解をいただき、六葉会ホームページをご覧くださいませよう願いたします。

◎第63回生学年幹事の紹介

- | | | |
|---------|----|-------|
| ★印 常任幹事 | 1組 | 上西利奈 |
| 5組 | 2組 | 生島秀一 |
| 4組 | 3組 | 甲斐悠樹 |
| ★高島成矢 | | ★末崎良亮 |
| 佐野友香 | | 小嶋太朗 |
| | | 中原惇耶 |
| | | ★半田真大 |
| | | 根本泰輝 |

クラス会や学年会の開催の際には六葉会にご連絡ください。
(六葉会ホームページからご連絡ください。)
※最新の住所録をご用意します。
※通信費の補助金を差上げます。

■関東学院六葉会 〒236-8504 横浜市金沢区六浦東 1-50-1 TEL.045-781-2525

印刷：株式会社エイコープリント 2015.4

Kanto Gakuin Mitsuura Junior & Senior High School

～関東六浦から世界へ～
地球のどこかと、世界の誰かとつながる明日へ
Go! Global



セブ島 英語研修
(2014 年度より実施)



アメリカ短期研修



カンボジア サービス・ラーニング研修
(2014 年度より実施)



オーストラリア
チーム留学



関東学院六浦は 2013 年に 60 周年を迎え、2014 年 4 月、新しい時代へ対応する教育を準備し始めました。ボーダーレス化が進む社会に臆せず、躊躇せずに歩みだしていくことができる近未来の人材を育てます。生徒一人一人が、自分が社会のどこかと、世界の誰かと繋がっていることを具体的に学び、知り、実際に経験すること。「百聞は一見にしかず」で現実の社会を一刻も早く、様々な体験し経験化すること。そして、その経験を日々の学びへの動機とし、自己啓発力を高めること。また、コミュニケーション力の基礎として英語力をつけること。これらを学校全体のカリキュラムの中で強化していきます。

校長 黒畑勝男 (2014 年 4 月着任)

1 学期に行う学校説明会 (事前申込等は不要です)
5 月 9 日 (土)・5 月 27 日 (水)・6 月 13 日 (土)・7 月 11 日 (土)・7 月 25 日 (土)
※いずれも 10:00～11:30 に本校で実施します

心躍る時間、未来へ続く道

関東学院六浦中学校・高等学校

〒236-8504 横浜市金沢区六浦東 1-50-1 TEL.045-781-2525